

<諸注意>

在留資格認定証明書の代理申請を申し込んだ方へ

早稲田大学大学院アジア太平洋研究科
アドミッションズ・オフィス

早稲田大学大学院アジア太平洋研究科への合格、誠におめでとうございます。

「在留資格認定証明書」および「入学許可書」を受け取ったら、まず最初にこれらの書類に記載されたあなたのお名前、生年月日などの内容に間違いがないか等をよく確認してください。間違いがある場合は至急、当研究科アドミッションズ・オフィスに連絡してください。

留学ビザを取得するには、パスポートと共に、「在留資格認定証明書」、「入学許可書」および「誓約書」*をあなたのお国のお近くの日本大使館または総領事館に提出しなくてはなりません。

「在留資格認定証明書」の有効期限は、通常、発行日から3ヶ月であり、この期限までに留学ビザを取得し、日本に入国しなくてはなりません。しかしながら、現在は、新型コロナウイルス感染拡大に対しての特例措置により、2021年1月31日以降に発行された「在留資格認定証明書」の有効期限は、発行日から6ヶ月間有効となっています。

ただし、「在留資格認定証明書」が発行されたとしても、その後査証（留学ビザ）が発給され、入国制限が解除されなければ入国はできません。

したがって、いつ頃日本に入国できるかは、入国制限に関わる日本政府の方針によることになり、現時点ではまだ不明となっています。ビザの申請についての詳細は、お近くの日本大使館または領事館にお問い合わせください。

<留学センターより>コロナウィルス感染拡大にともない、ビザ申請、必要書類*、入国手続きなど従来と異なる手続きが必要になっておりますので、以下の URL から新規入国に関する案内を確認するとともに、大使館でも最新情報を取得し、手続きを進めてください。

*ビザ申請に必要な誓約書の申請方法も以下の案内に記載しています。

<https://waseda.box.com/s/ww2k7lmqf5hfnrcisyyb8eapqzn5a42m>



日本へ入国する際、この「在留資格認定証明書」は入国審査官に提出しなくてはならないので、「入学許可書」と「誓約書」と共に入国の際に必ず携行してください。

入国の際には「在留カード」も発行されますが、「在留カード」は日本に滞在中のあなたの身分を証明する大変重要なものになりますので、大切に保管してください。

また、来日後、最寄りの市（区）町村の役所の窓口にて住民登録を行い、空港にて入手した「在留カード」の裏面に登録住所の記載をうけてください。「在留カード」の両面のコピーを貼付した「在留資格確認書類届出用紙」、あるいは、「住民票」のどちらかを3月31日（水）、または、入国が3月31日以降になる場合は、入国日（あるいは隔離期間終了）以降2週間以内に当研究科アドミッションズ・オフィスへご提出ください。（それより遅れる場合は、GSAPS アドミッションズオフィスまで必ずご連絡ください。）

尚、事情により当研究科へ入学できなくなってしまう場合には、理由書とともに、「在留資格認定証明書」を当研究科アドミッションズ・オフィスに至急返送してください。

「在留資格認定証明書」や「入学許可書」は再発行出来ない書類ですので、必要に応じてコピーをとり、保管してください。

ご不明な点がございましたら、当オフィスまでご連絡頂きますようお願いいたします。

それでは、早稲田で皆様にお会いできることを楽しみにお待ちしております。

以上

※個人情報の取り扱いについて

この度入国管理局から発行された在留資格認定証明書は、留学生在留資格管理の観点から複写を大学で厳重に保管するよう、入国管理局から指導されておりますのでご了承ください。

なお、この情報は、留学生在留資格管理の目的以外には利用いたしません。